



# 附中だより

## 第4号

教育目標「知性と品位をもち、社会を興す人となろう」

### 今、附属中では・・・

今年度、私たち附属長岡中教員は、「子供が自ら問いをもち、試行錯誤しながら粘り強く学ぶ授業」を広く先生方に発信すべく、5月末から7月にかけて、数多くの公開授業を行っています。他校の先生から参観いただき、授業で見られる附中生の素晴らしい学びの姿に高い評価をいただいています。

公開授業はもちろん、どの授業でも子供が前のめりに課題に取り組む姿がいたるところで見られます。日々の授業を大切に、仲間とともに学ぶ中で自分を鍛える。そんな素晴らしい附中生の姿に、私たち教職員もパワーをもらっています！

### ＜★1年生「ものづくり科」～地域課題解決について考えよう～＞

身近な生活に潜む課題をテーマに「ものづくり科」の学習を進めている1年生。私たちは「ものづくり」とは、問題解決のプロセスそのものであると考えています。そこで、長岡における地域課題の解決に向け、どのような人々がどのような取組を行っているのか知るために、米どころ長岡で資源サイクルの創出を目指すN. CYCLEと長岡技術科学大学COI-NEXTの取組を学ぶ特別授業を行いました。実際の社会実装から多くのことを学ぶことができた時間となりました。



### ＜★2年生「家庭科」安全な住まいと暮らし～自然災害に備えてできることは？～＞

地震を中心に、安全な暮らしのためにどのような備えをすべきかを考え、仲間との交流を経て実践に向けた意欲を高めました。終始和やかな雰囲気の中で進んだ授業。充実した学びの基盤には、温かな学級の雰囲気があるのだと、我々教職員も再認識しました。



### ＜★3年生「数学科」平方根～底辺14cmのごみ箱を作るには、一辺が何cmの紙が必要？～＞

机上に置くのに最適な大きさのごみ箱を作るには？平方根が身近な日常にも隠れていることに気付き、その知識を活用しながら課題に立ち向かいます。手元には折り紙。それを使って試行錯誤しながら悩む姿。まさに、「頭」と「心」と「手」を駆使して学びを深める姿が見られました！



### ☆県総体等結果☆

<b>【剣道部】</b> 男子団体 対 坂井輪中 1-3 惜敗	<b>【水泳】</b> 男子 400m 個人メドレー 3位 北信越大会出場 男子 200m 個人メドレー 5位、男子 4×100m リレー 8位 女子 800m 自由形 8位
<b>【体操】</b> 女子個人総合 1位 北信越大会出場	<b>【通信陸上】</b> 男子走高跳 6位 女子 100mH 4位 北信越大会出場

## オープンスクールが行われました

7月12日(金)にオープンスクールを開催しました。3、4限の授業を多くの保護者の皆様からご参観いただきました。夏休み直前、暑い中でも授業に前のめりになって取り組む子供の姿をご覧いただけたことと思います。また、当日の午後にはオンラインも活用して各学年PTA、進路説明会も開催しました。そちらも多くの皆様からご参加いただきました。

ありがとうございました。



【進路説明会の様子】

## 生活向上委員会の取組紹介

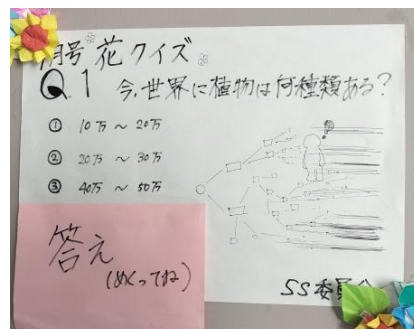
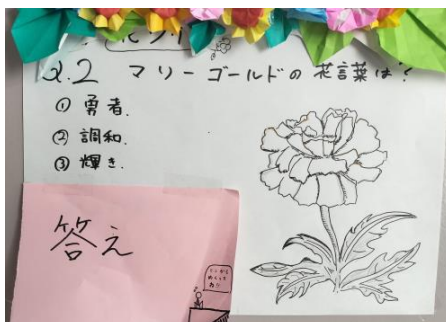
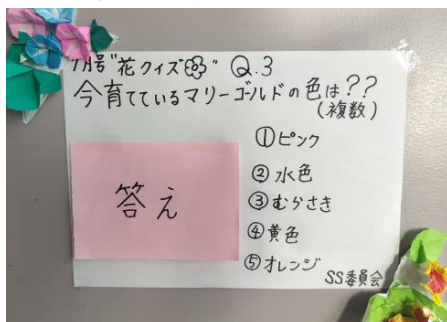
昨年度までの「応援団指導委員会」から名称が変わった「生活向上委員会」では、「あいさつ運動」に力を入れています。16日に行われた生徒朝会では、あいさつについて、生活向上委員から実演を交えながらお話がありました。

また、現在「あいさつ運動」では、ハイタッチを交わす姿や様々な国の「こんにちは」であいさつを交わすも見られます。(昨日は「ボンジュール」、今朝は「アロハ」でした!)ハイタッチや外国語であいさつをすることで会員の気持ちを盛り上げ、新たなつながりをつくろうという生活向上委員の粋なアイデアです。ハイタッチや外国語でのあいさつは本日までですが、今後も会員同士が楽しくつながることのできる企画をどんどん実行していきましょう!



## スクールサービス(SS)委員会の取組紹介

今、教室棟には、いくつか花にまつわるクイズが掲示されています。校地の緑化に取り組むSS委員会が「もっと会員の皆に花に関心を持ってもらいたい」という願いを込めて行っている新たな企画です。生徒の皆さん、クイズに挑戦してみましたか?保護者の皆様もぜひ挑戦してみてください!答えはお子さんに聞いてみてください!



## ☆校長講話～成果を語る会にて～☆

本日の成果を語る会にて、高野校長より「トランスジャパンアルプスレース※」に参加した選手のコメントの紹介と、それにかかわって以下のような話がありました。

※2年に一度、8月に開催。日本海側の富山湾をスタート地点とし、3000m級の山々をいくつも越え、太平洋側の静岡県駿河湾まで約415kmの距離を、自分の足だけで8日間以内に走りきることを目指すレース。世界で最も過酷なレースの一つで、厳しい審査と選考会をクリアした30人程度しか挑戦できない。

ある選手がこんなコメントを残していました。「もう限界だ。足や身体中が痛くて走れない。でもあと10分だけ頑張ってみよう。そうやって10分走ったら、また10分。この繰り返しです」「限界だと思ったがその先がまだあった。限界は自分が勝手に作っているもの。限界の先に何かあるか見てみたい」

私たちは高い目標を立てると、途中でくじけそうになったり、諦めてしまったりします。そんな時に大事なのが、「あと10分だけ頑張ってみよう」という自分への励ましなのだと思います。普段の家庭学習が1時間の人が、夏休みに毎日5時間学習しようと目標を立てても、すぐにその実現は難しい。今日の60分を明日の70分にする。できたら80分にする。小さな一歩の積み重ねを続けることで、いつの間にか大きな目標ができるようになっていくものです。できたという達成感で私たちは次に頑張れます。「あと10分走れたのだから次の10分も走れるはず」というように。できない経験を積んでいくと、自分の能力の限界を勝手に作ってしまいます。「限界は自分自身が勝手に作り上げたもの」という言葉、大切にしたいものです。自分さえ諦めなければ達成できることは多いのです。夏休みは「〇〇しなければならぬ」という学校からの制約がなくなります。自分自身と向き合うチャンスです。チャレンジし続けてください。

是非ご家庭でも、この夏のお子さんのチャレンジへの励ましをお願いいたします。

新潟大学附属長岡中学校 〒940-8530 長岡市学校町1-1-1

Tel 0258-32-4190 Fax 0258-32-6340

Email kobai@nagaoka.ed.niigata-u.ac.jp ホームページ http://www.nagaoka.ed.jp/